

小学部の服装・持ち物について

1. 通学服

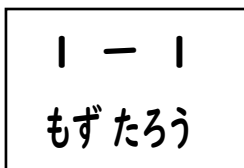
- 制服や標準服はありません。自由ですが、自分で着脱しやすい服装にしてください。
- ワンピースやオーバーオールなど、着脱しにくいものは避けてください。(難しい場合はご相談ください)
- 肌着を着用させてください。(難しい場合は練習していきますのでご相談ください)
- 登校後、校衣着に替えます。子どもの実態に応じた着脱のしやすい服を用意してください。

2. 校衣着(上下をご用意ください)

- トレーナーやTシャツ、体操服など、活動しやすく、自分で着脱しやすいものを用意してください。
季節に合わせて半袖、長袖それぞれ2枚以上必要です。
- ズボンはポケットがあるものにして、ハンカチを入れておいてください。
(サイドか前にポケットのあるズボンがハンカチを使用しやすいです)
- 登校着と校衣着の区別がつきやすいように、校衣着の上は白、下は黒や紺を基調としたものにしてください。
- 学校置き予備の服(校衣着、肌着、パンツ、靴下を1セット以上)を持たせてください。
持ち帰った分だけ、翌日に持たせてください。
- 胸には、横15cm×縦10cm程度の白地の布でゼッケンを作っていただき、黒いマジックインキで学年、組、名前を書いて縫いつけてください。

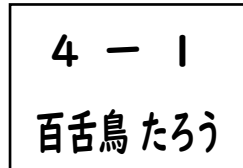
ゼッケン記入例

(低学年)



姓名共にひらがな

(高学年)



姓は漢字、名はひらがな



3. 上靴、体育館シューズ、靴袋

- 上靴・体育館シューズと下靴がはっきりと区別できるよう、上靴・体育館シューズは白っぽい色のもの、下靴は色の濃いものを用意してください。
- 自分で履き替えやすいものを用意してください。脱げやすい靴は避けてください。
- 体育館シューズには大きく 体 と書き、走りやすい靴にしてください。
- 靴袋は、自分で出し入れしやすい大きさのものにしてください。
- 上靴は週始めに持ってきて、週末に持って帰ります。
- 体育館シューズは学期末または汚れた時に持って帰ります。

体育館シューズの記入例



上靴・体育館シューズの例



下靴の例



靴袋の例



4. かばん

- 丈夫な素材のリュック型で、ロがファスナーで閉じられるものを用意してください。
- 連絡帳用のバインダー（A4サイズ）、校内着、歯みがきセット、エプロンセット、タオル、靴袋（上靴）、着替えなどが全部入り、十分余裕のあるサイズを選んでください。また、自分で出し入れがしやすい形を選んでください。（月曜・金曜は荷物が多くなります）
- キーホルダーは原則付けてこないでください。（ヘルプマークやネームホルダーは可）
- ランドセルは荷物が全部入りませんのでご注意ください。

かばんの例



※○肩掛けひもの前に留め具のあるものを選んでください。



冬になると荷物が多くなります。
余裕のあるサイズを選んでください。

5. 歯ブラシとコップ

- 給食の後、歯みがきをします。コップはプラスチックのものを用意してください。衛生を保つために毎日持って帰ります。洗って乾かして、持ってきてください。
- 袋は自分で出し入れしやすい、余裕のあるサイズを準備してください。
- 歯ブラシのキャップは不要です。
- 歯磨き粉は持ってこないでください。



6. エプロン・三角巾(帽子)・マスク・巾着袋

- 給食の時に使います。当初はエプロンや三角巾(帽子)はこれまで使用していたもので結構です。購入される場合は、右の写真のような形の首からかけるタイプのエプロンを購入してください。(学期末懇談時に担任から個々の課題に合うよう、アレンジをお願いすることがあります。)
- マスクは使い捨てマスク、布マスクどちらでも構いません。サイズが合うものを用意してください。
- 毎日持って帰りますので、2セット以上準備してください。
- エプロン・三角巾(帽子)・マスクは布製巾着袋(入れやすいように大きめの袋)に入れてください。
- 三角巾(帽子)は、自分で着脱できるものを準備してください。



三角巾(帽子)の例



給食袋の例



7. ハンドタオル

- ハンドタオルはハンカチとは別に使います。
- ひもをつけてフックに掛けられるようにしておいてください。
- 毎日持って帰ります。



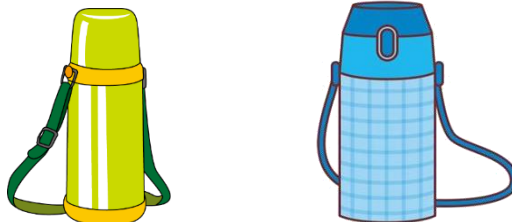
8. ハンカチ

- パイル地などのよく水を吸うものにしてください。毎日ズボン(校内着)のポケットに入れてください。

9. 水筒

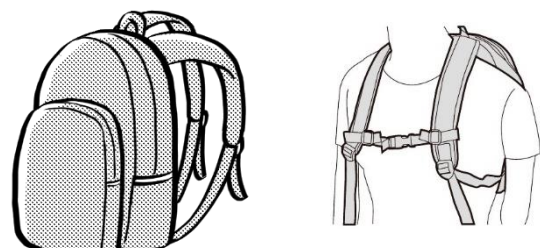
- 水筒は毎日持ってきます。肩からかけられる物を用意してください。
- 軽くて壊れにくいものが望ましいです。
- 使い慣れた物を持たせてください。新たに購入される場合は、一度ご相談ください。
- 忘れた場合や足りなかった場合は、学校でペットボトル(水または麦茶)を購入させていただきます。新しいペットボトルを返却してください。事後報告になりますのでご了承ください。

水筒の例



10. リュックサック

- リュックサックは歩行学習や校外学習で使います。水筒やお弁当、着替えの入る大きさの物をご用意ください。
- 肩掛けひもの前に留め具のあるものを選んでください。
- 通学用のリュックより小さめで軽いものが望ましいです。
- キーホルダーは付けてこないでください。(ヘルプマーク、ネームホルダーは可)



11. 図工服

- 絵具や油性ペン等で汚れますので、長袖のスモック、または汚れてもよい長袖のＴシャツ（校内着の上から着れる大きさ）を用意してください。
- 学期末または汚れた時に持って帰ります。

図工服の例



12. 帽子・上着・置き傘

- 自分で着脱しやすい帽子を用意してください。学校に置いておき、学期末に持って帰ります。

帽子の例



- 薄手の上着（ウインドブレーカー、ジャージ等）を学校に置いておきます。
気温に合わせて上着で調整します。

上着の例



- 高学年は雨の日に傘をさして歩く練習を行いますので、置き傘が必要です。持ってくる時期は学年便りでお知らせします。



13. その他

- 必ずすべての持ち物に記名をお願いします。（インソールを使用している場合はインソールにも記名）
- その他の必要な持ち物については、入学後、必要な時期にお知らせします。
- 通学用の名札はありません。交通安全ワッペン（小1）は、上着や鞆に付けて登校してください。
- 連絡帳用のバインダー及び連絡帳は、学校から配付します。
- 紙パンツやパッドが必要な場合は学校で預かります。（まとめて持って来ていただいて構いません）
- マフラーや手袋は原則着けてこないでください。（体温調整等で必要な場合はご相談ください）
- 「小学部の服装・持ち物について」に書かれている持ち物以外の物（携帯電話、カイロやクールネック、おもちゃ類）は原則持ってこないでください。必要なものがある場合はご相談ください。
- 自分でできることを増やし、達成感を積み重ねることを大切にしています。入学後、使いやすくなる工夫をご相談させていただくことがあります。
- 放課後等ディサービスの荷物は通学かばんとは別にさせていただくか、通学かばんに入る場合は一つの袋にまとめて学校の荷物と区別がつくようにしてください。